

『改訂2版 専門医試験のための呼吸器ベーシックポイント カの340題』 正誤表

『改訂2版 専門医試験のための呼吸器ベーシックポイント カの340題』（2009年4月10日 第2版第1刷～2015年11月10日 第2版第6刷） p.235において誤りがございました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

(2021年8月23日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤	正
p.235欄外 解答	発展問題2 : b, e	発展問題2 : b

『改訂2版 専門医のための呼吸器ベーシックポイント 力の340題』正誤表

『改訂2版 専門医のための呼吸器ベーシックポイント 力の340題』（2011年9月20日 第2版第3刷）に誤りがありました。ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

(2011年10月14日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤	正
p.39, 発展問題2, ヒント4行目	無期肺	無気肺
p.43, 発展問題1, (1)	hyperresponance	hyperresonance
p.43, 発展問題1, ヒント12行目	静音振盪	声音振盪

『改訂2版 専門医のための呼吸器ベーシックポイント 力の340題』 正誤表

『改訂2版 専門医のための呼吸器ベーシックポイント 力の340題』 (2009年4月10日 第2版第1刷) において誤りがございました。

ここに深くお詫びし、訂正申し上げます。

(2010年10月4日 メジカルビュー社編集部)

ページ	誤	正
p.(13) 下から4つ目, フルスペル・日本語訳	hemophagocytic syndrome 血球貪食症候群	hepatopulmonary syndrome 肝肺症候群
p.(14) 1つ目の略号	HTT	HHT
p.2 例題1, 5行目	d. 隣接する杯肺胞間には直接的な交通路はない。	d. 隣接する肺胞間には直接的な交通路はない。
p.2 解説, 右段5行目	I型細胞は	II型細胞は
p.2 解説, 右段6行目	II型細胞より	I型細胞より
p.10 例題5, e.	呼吸抵抗は, 気道抵抗を測定することが必要である。	呼吸抵抗は, 気流速度を測定することが必要である。
p.11 発展問題2	正しいのはどれか。	誤りはどれか。2つ選べ。
P.11 解答, 発展問題2	e	a, d
p.15 フローチャート, 中央	PaO ₂ は増大しているか?	PaCO ₂ は増加しているか?
p.15 発展問題2, 2行目	2つ選べ。	削除 (解答1つ)
p.19 発展問題1	1つ選べ。	2つ選べ。
p.19 発展問題1, ヒント1行目	睡眠無呼吸合併評価	睡眠時無呼吸合併評価
p.19 解答, 発展問題1	e	b, e
p.32 例題4, 解説5行目	(2)	(4)
p.32 例題4, 解説9行目	(4)	(2)
p.36 例題6, 7行目	関節炎症状を呈するである。	関節炎症状を呈する。
p.37 発展問題1, ヒント1行目	運動により組織酸素消費が亢進し血酸素飽和度	運動により組織酸素消費が亢進し酸素飽和度
p.37 発展問題2, ヒント下から1行目	健常成人では何らかの異常が疑われる。	健常若年成人では何らかの異常が疑われる。
p.58 例題6, c)	肺動静脈瘻の診断には気管支動脈造影を行う。	肺動静脈瘻の診断には肺動脈造影を行う。
p.59 解答, 例題6	c	a
p.65 発展問題1, ヒント4行目	(3) C判定には早期肺癌との鑑別を要する	(3) C判定には早期扁平上皮癌との鑑別を要する
p.65 解答	発展問題2 : c	削除

ページ	誤	正
p.124 例題9, (1)	肺気腫に気管支喘息を合併した 病態はCOPDと診断する。	肺気腫に気管支喘息を合併した 気流閉塞はCOPDとする。
p.125 発展問題1, b.	40歳以上の日本人 の約530万人がCOPDに罹患していると推測されている。	日本人 の約530万人がCOPDに罹患していると推測されている。
p.125 発展問題1, ヒント2行目	わが国で 試行された COPDの	わが国で 行われた COPDの
p.151 解答, 例題22	b, c	c, d
p.154 例題24, (4)	感染直後に肺内に 進入 し産卵する。	感染直後に肺内に 侵入 し産卵する。
p.155 本文右段1~2行目	診断は 酵素抗体法 (enzyme-linked immunosorbent assay : ELISA) を用いた血清診断	診断は 酵素抗体法を用いた血清診断 (enzyme-linked immunosorbent assay : ELISA)
p.155 発展問題1, ヒント2行目	(2), (5) イヌ糸状虫は本来, イヌのなどの	(2), (5) イヌ糸状虫は本来, イヌなどの
p.155 発展問題2, 1行目	寄生虫 に関して正しい組み合わせはどれか?	肺寄生虫症 に関して正しい組み合わせはどれか?
p.155 発展問題2, 2行目	(1) ウエステルマン 肺吸虫 —— 牛肉	(1) ウエステルマン 肺吸虫症 —— 牛肉
p.155 発展問題2, ヒント6~7行目	摂取することによりヒトに感染する。 余後 は肝病巣の…	摂取することによりヒトに感染する。 予後 は肝病巣の…
p.155 発展問題2, ヒント9行目	肺への転移病巣は 余後 には影響を及ぼさ…	肺への転移病巣は 予後 には影響を及ぼさ…
p.156 発展問題2	d	d (2,3,4) 以外に5も正解である。よって不適切問題
p.212 例題53, 1行目	肺癌の治療について正しいのはどれか。	肺癌の治療について正しいのはどれか。2つ選べ。
p.212 例題53, 4行目	c. stage III期症例では手術前に抗癌薬and/or放射線療法を 行うことがある。	c. stage III期症例では手術前に抗癌薬and/or放射線療法を 行う。
p.213 解答, 例題53	d	b, d
p.228 解説, 左段9行目	(2) Morgagni孔ヘルニアは 肋骨 の両側で,	(2) Morgagni孔ヘルニアは 胸骨 の両側で,
p.228 本文, 左段3行目	の筋板で, 腱膜部分と 腹部 からなっている。	の筋板で, 腱膜部分と 筋部 からなっている。
p.231 解答, 例題62	c, d	c, e
p.233 発展問題2, ヒント8行目	集団発見 が多く, 肺機能の低下も軽度で	集団検診 が多く, 肺機能の低下も軽度で
p.235 本文, 左段1行目の見出し	特発性肺ヘモジデロシス (特発性肺血症 : ……	特発性肺ヘモジデロシス (特発性肺血鉄症 : ……
p.235 発展問題1, 1行目	特発性肺血症 について正しいのはどれか。	特発性肺血鉄症 について正しいのはどれか。
p.235 発展問題1, 2行目	(1) 特発性肺鉄症 は, 小児に発症することが多い。	(1) 特発性肺血鉄症 は, 小児に発症することが多い。
p.235 発展問題1, ヒント2行目	(2) 特発性肺鉄症 では, 抗基底膜抗体が陰性	(2) 特発性肺血鉄症 では, 抗基底膜抗体が陰性
p.235 解答, 発展問題2	b, e	e

ページ	誤	正
p.235 発展問題2	<p>発展問題 2</p> <p>続発性肺ヘモジデロシスについて誤っているのはどれか。2つ選べ。</p> <p>a. P-ANCA関連疾患に合併することが多い。 b. 心疾患は原因から除外される。 c. 肉芽腫症に合併することがある。 d. 播種性血管内凝固症候群に発症することがある。 e. 牛乳過敏症を伴うものがある。</p>	<p>発展問題 2</p> <p>続発性肺ヘモジデロシスについて誤っているのはどれか。</p> <p>a. ANCA関連疾患に合併することがある。 b. 心疾患は原因にならない。 c. Wegener肉芽腫症に合併することがある。 d. 播種性血管内凝固症候群に合併することがある。 e. Behçet病に合併することがある。</p>
p.235 発展問題2, ヒント	<p>ヒント</p> <p>a. P-ANCA関連疾患では、毛細血管炎を反映して肺腎症候群をきたすことが多い。 b. 心疾患が原因となることもある。 c. Wegener肉芽腫症でも認められる。 d. 出血傾向をきたす疾患においても発症する。 e. 特発性で認められることがある。</p>	<p>ヒント</p> <p>a. ANCA関連疾患では、毛細血管炎による肺胞出血を呈する。 b. 僧帽弁閉鎖不全症で見られることがある。 c. Wegener肉芽腫症でも認められる。 d. 出血傾向をきたす疾患においても発症する。</p>
p.238 解説, 左段8行目	Rendew-	Rendu
p.238 解説, 右段1行目	動静脈瘻	肺動静脈瘻
p.238 本文, 左段6~7行目	(HTT, Rendew-Osler-Weber病)	(HHT, Rendu-Osler-Weber病)
p.239 本文, 左段9~10行目	(HTT, Rendew-Osler-Weber病)	(HHT, Rendu-Osler-Weber病)
p.239 本文, 左段14行目	HTTの	HHTの
p.239 発展問題1	肺動静脈瘻について正しいものはどれか。	正しいものはどれか。3つ選べ。
p.239 発展問題1, d.	肺内左右シャントの合併症に細菌性心内膜炎がある。	肺動静脈瘻合併症として奇異性塞栓症がある。
p.239 発展問題1, ヒント1行目	血球貪食症候群	肝肺症候群
p.239 発展問題1, ヒント5行目	簡便性と非侵襲性から肺内右左シャントを	肺内右左シャントを
p.239 発展問題2, a	肺分画症の灌流血管の多くは肺動脈から直接分岐する。	肺分画症の灌流血管の多くは肺動脈から分岐する。
p.239 発展問題2, c	肺外肺分画症のドレナージは90%以上が肺静脈を介する。	肺葉外肺分画症のドレナージは90%以上が肺静脈を介する。
p.239 発展問題2, d	II型の遺伝性出血性末梢血管拡張症では	HHT II型の遺伝性出血性末梢血管拡張症では
p.239 解答, 発展問題1	b, c	b, c, d
p.248 中央段, 28行目	(HTT)	(HHT)